



2023年度 ちよっくら 未来づくりラボ

活動報告書



令和5年度ちょっくら未来づくりラボの概要

ちょっくら未来づくりラボは、直鞍地域(直方市、宮若市、小竹町、鞍手町)の中学生が、地元企業の見学や体験活動、他の中学校の生徒とのグループワークを通じて、志を高め合いながらリーダーとなるための心構えを学び、将来、様々な分野で活躍する「リーダー」の育成を目指したサマースクールです。

主催

直鞍地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会(直方市、直方市教育委員会、宮若市、宮若市教育委員会、小竹町、小竹町教育委員会、鞍手町、鞍手町教育委員会、福岡県)

後援

福岡県教育委員会

開催日程

令和5年8月2日(水)、10日(木)、17日(木)日帰り3日間

会場

ユメニティのおがた(直方市山部364-4)ほか

参加状況

募集対象：直鞍地域在住の中学1～3年生

受講生：9名

参加費：無料

目次

ちょっくら未来づくりラボの概要.....01

活動内容.....02

講師・企業紹介.....03

コーディネーター・参加者紹介、アンケート結果・・04

グループワーク・発表の様子(A班).....05

グループワーク・発表の様子(B班).....06



今回の活動の様子を動画で見ることができます。
こちらの二次元コードもしくはURLからアクセスしてください。

URL:<https://www.youtube.com/watch?v=KIR1muk3kCI>

1日目

8月2日、初日を迎えた「ちょっくら未来づくりラボ」。

参加者は少し緊張した面持ちでユメニティのおがたの会場に入ってきました。

開講式では、直鞍地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会の野中会長から、「自分の意見や考えを持ち、表現することと、未来の自分を想像することを意識して参加してほしい」とお話があり、参加者たちはこの3日間で何をすべきか考えている様子でした。

午前は、オリエンテーションとグループワークを行いました。

オリエンテーションでは、これからの3日間、参加者同士で呼び合うニックネームを考えたり、お互いに楽しむ雰囲気を作るアイスブレイクを行ったりしました。オリエンテーション終了後は、参加者たちの緊張がほぐれ、互いの理解が深まり、積極的にコミュニケーションをとる様子が見られました。

グループワークでは、直鞍地域の各市町の広報誌を手に取り、「直鞍地域の魅力を知ろう」というテーマで意見交換する中で、グルメスポットや地域の歴史・文化など、日々の生活では気づくことができなかった「直鞍地域の魅力」を改めて知ることができました。

午後は、「福岡県立小竹高等技術専門学校」で職業訓練の体験を行いました。「かな削り体験」や「ネイルアート体験」、「プログラミング体験」など多岐にわたる職業訓練コースの中から、参加者たちは興味があるコースを1つ選び、体験しました。最新の機器や技術に触れ、「地元でも、最先端の技術に触れることができるとは思っていなかった」と驚く参加者もいました。職業訓練の体験を終えた後、各自が体験した内容や感じたことをグループワークで意見交換し、将来の進路や就職について考える貴重な時間となりました。



2日目

2日目の午前には、台風接近の影響により、株式会社石橋製作所の工場見学・講話を中止（3日目の動画視聴に変更）し、ユメニティのおがたでワークショップを行いました。ワークショップでは、お互いのことをより知ることによってそれぞれの関係性を深めるきっかけをつくり、グループの中でリーダーシップを発揮できるようにすることを目的に、課題解決グループワークや、体験で得た学びを言語化するふりかえり等を行

いました。参加者たちは、個人とグループの自主性、協調性、主体性を高めるとともに、これからの活動でのリーダーシップを具体的に言語化することができました。

午後は、マリーホール宮田でJMAドローンスクール福岡による講義、ドローン操作体験を行いました。講義では、ドローンの機体や免許、地域で農業散布に活用されていること等の説明を受けた後、ドローンの操作方法を教えてもらいました。参加者たちは、ドローンのカメラと視覚共有したVRゴーグルを付けてドローン操作することで、楽しみながら、どのようにドローンを地域課題の解決に活用できるか考えていました。



3日目

最終日の午前には、大和ハウス工業株式会社九州工場での工場見学、体験活動を行いました。

工場見学では、人と機械（ロボット）の最適な組み合わせによって、工場生産によるスピード感のある高品質な「ものづくり」を目にしました。参加者たちは、大和ハウスグループ会社が開発した「アシストスーツ」を実際に着用し、作業時の身体負担が軽減されることを体感することができました。また、防犯ガラスの強度を図る体験では、力強く何度もハンマーで叩いても割れない防犯ガラスの強度を知り、職員の方に質問をするなど、安全対策の必要性について改めて考えることができました。

午後は、台風接近の影響で2日目に中止となった株式会社石橋製作所からご提供いただいた工場見学・講話の動画を視聴しました。動画の中で、石橋和彦代表取締役からの「変化の速い時代、どのような力をつける必要があるか」「AIが進化する中で、人間の身につけるべき能力はなにか」という問いかけを受け、参加者たちは自分にできることや必要になってくることは何かを考えていました。

グループ発表に向けて、この3日間で体験・学んだことを振り返りながら、「私たちが目指す直鞍地域の未来」をテーマに、直鞍地域の課題や活性化について意見をまとめました。グループ発表では、A班は「世代関係なく、誰もが暮らしやすい街」、B班は「大人になっても住みたいと思える地域」という観点から、グループごとに話し合った結果を模造紙にまとめた「気づき」を使って発表しました。また、「私たちが

活動内容、講師・企業紹介

目指す直轄地域の未来」の実現のために、これからの日常生活の中で、自分たち一人ひとりができることを個人発表しました。見学に来ていた保護者の方々から「気づ木」や発表内容について質問を受けた参加者たちは、自分たちの言葉で丁寧に答えるなど、活気のあるグループ発表となりました。

閉講式では、直轄地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会の松尾実行委員から参加者一人ひとりに修了書が授与されました。

閉講式終了後、参加者たちは仲間と3日間の思い出を振り返り、別れを惜しみつつ、令和5年度「ちょっくら未来づくりラボ」は解散しました。



講師・企業紹介

1日目



福岡県立小竹高等技術専門学校（小竹町）

職業能力開発促進法に基づき、経済及び社会の発展に寄与する人材を養成する県立の職業訓練施設です。施設内訓練として、プログラム設計科・自動車整備科・機械加工エンジニア科・建築科・デザイン塗装科・介護サービス科の6科を設置し、また、この他に委託訓練を実施しています。

2日目



株式会社石橋製作所（直方市）

当社は福岡県直方市に位置し、高精度歯車装置の開発・設計・製作とメンテナンスサービスを国内外に提供しています。日本で唯一の量産型大型風車用増速機メーカーとして、国内外に5000台以上の実績を有します。現在は風車のみならず、ますます深刻化する様々な社会課題を解決するという視点で、持ち前の柔軟性とネットワーク力を駆使し、モノづくりだけでは解決できない課題を、コトづくりを掛け合わせることで挑戦しています。



JMA ドローンスクール福岡（宮若市）

弊社は2020年よりドローンスクールを開校、2021年には国土交通省の認定講習団体となり、学校でのプログラミング授業や農薬散布の実施など、ドローンを活用した事業を展開しています。2022年12月より国家ライセンス化されたドローンですが、弊社でもライセンスを取得できる講習の受講が可能です。これから更に成長を遂げるドローンを皆様に知ってもらい、興味をもっていただくために、私達がドローンの良さをもっともっと伝えていきたいです。

3日目



大和ハウス工業株式会社九州工場（鞍手町）

操業開始は1972年。鞍手町で戸建住宅・集合住宅・建築事業・流通事業の鉄骨製品やパネル製品の組み立てを担う工場として生産を開始しました。2003年から全国工場9工場ゼロエミッションを実現。廃棄物の削減やエネルギーの使用削減、自然エネルギーの活用に取り組んでいます。地域共生活動の一環として、2055年に向けて進化と自然が調和するマチ「くらて」のミライを描き共に成長し活気あるマチ創りに取り組んでいます。

コーディネーター紹介



深山 翔平 氏（一般社団法人TJC 教育サポート 理事長）

福岡県久留米市出身。教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし、全ての人によりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちには自然体験キャンプやマネーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。オンラインでは子ども向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から100名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



山下 徹朗 氏（一般社団法人TJC 教育サポート 理事）

福岡教育大学卒。小学校教員、全国小学校理科教育研究会にて実践発表、日本一周を経て、一般社団法人TJC教育サポートの理事に就任。子どもから大人、学校から地域、社会へ教育者として多岐に貢献している。

参加者紹介

A 班



私立明治学園中学校 1年
宮坂 柚子さん



宮若市立宮田東中学校 2年
河野 翔さん



宮若市立宮若西中学校 1年
有吉 琢眞さん



小竹町立小竹中学校 2年
河島 優姫さん

B 班



私立明治学園中学校 2年
宮坂 蕾さん



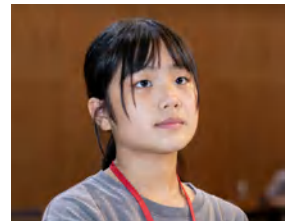
宮若市立宮田東中学校 2年
竹下 樹さん



宮若市立宮若西中学校 1年
山近 準也さん



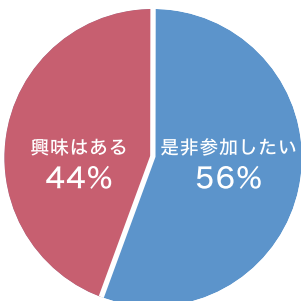
小竹町立小竹中学校 2年
田代 優奈さん



鞍手町立鞍手中学校 3年
都甲 朝さん

アンケート結果 (抜粋)

問 今後「未来の地域リーダー育成プログラム」で報告会等の機会があった場合、自分の成果の発表や意見交換をしたいと思いませんか。



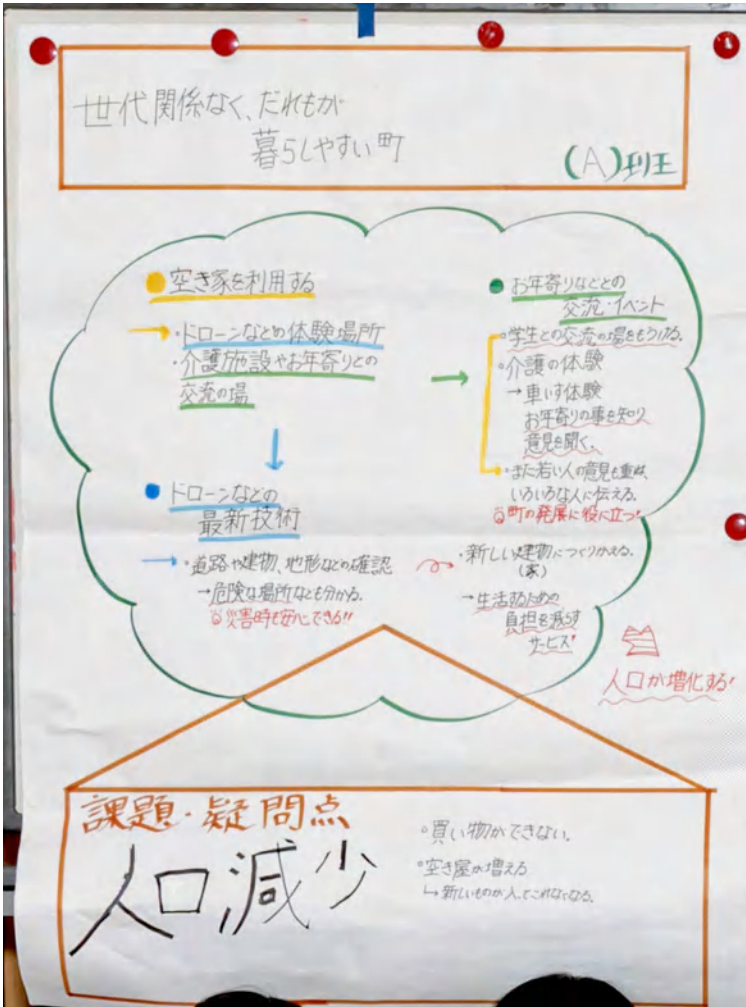
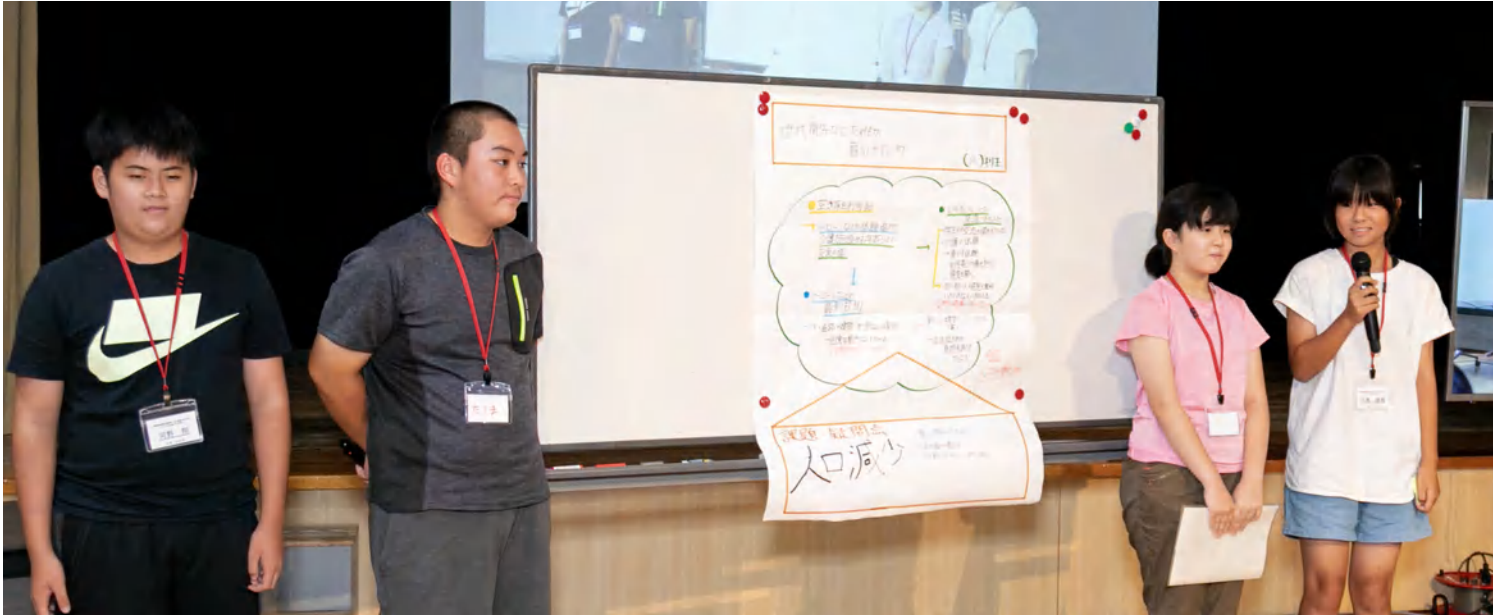
問 今回のプログラムで学んだこと、感想を教えてください。

- ・今までは町の問題や解決方法などを深く考えたことはなかったけれど、いろいろなことを体験を通してより考えることができて良かったです
- ・リーダーシップとはなにかについて考えた
- ・ドローンは手で動かすものだと思っていたけどプログラミングでも動く

問 本プログラムをはじめ、県や市町村への意見要望を教えてください。

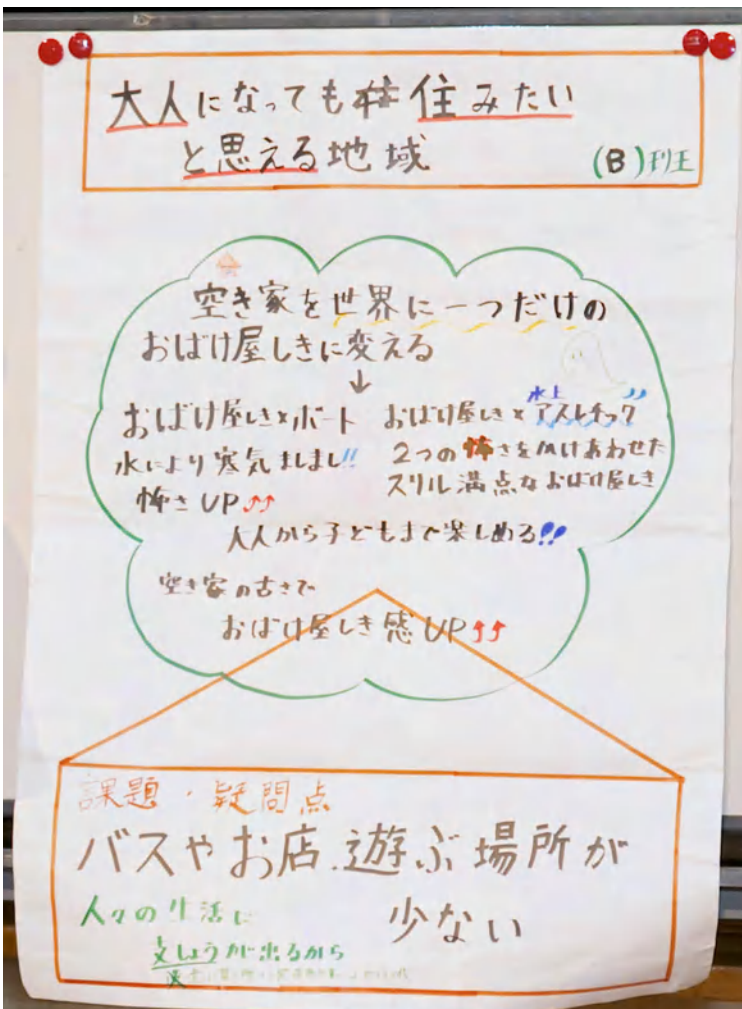
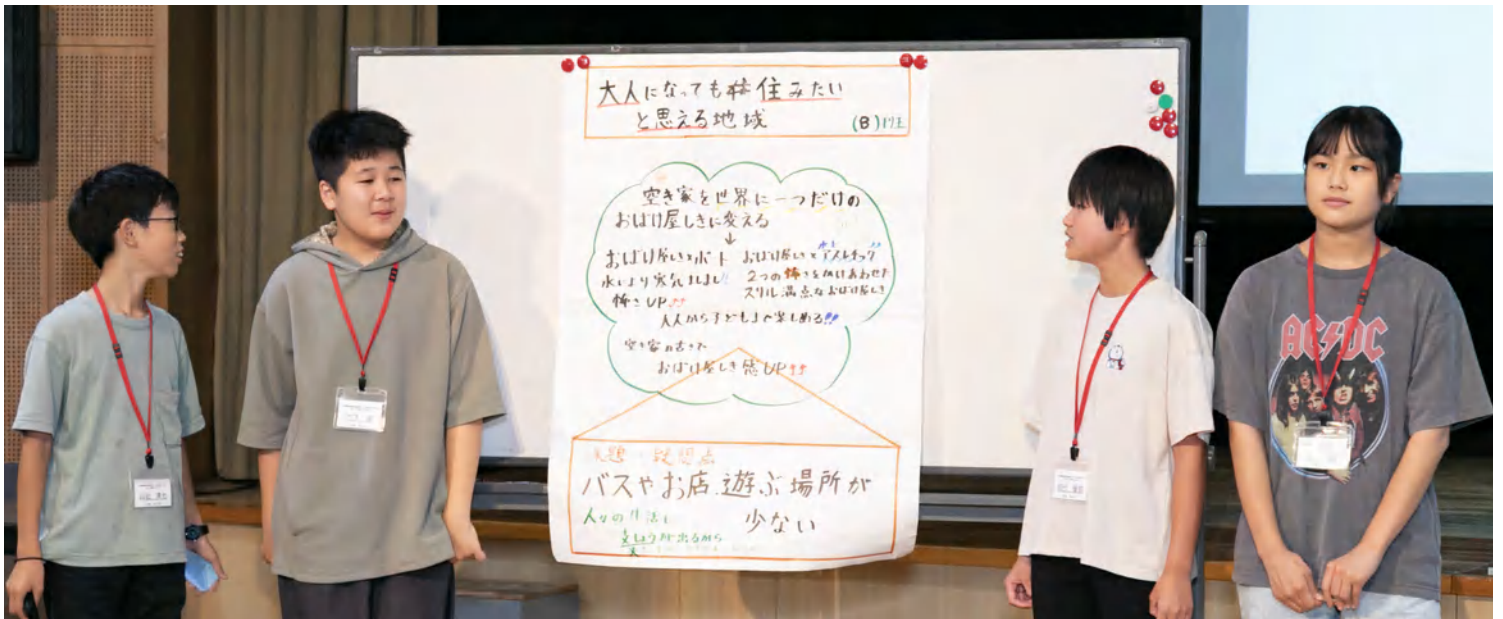
- ・こういう子どもが体験を通して未来への意見を言えるイベントがあるといいなと思いました
- ・大人も子どもも楽しめるテーマパークや、市民プールを営んでほしい
- ・ちょっと未来づくりラボの実施期間を5日間にしてほしい

グループワーク・発表の様子(A班)



福岡県北九州教育事務所・江崎 義朗主任社会教育主事からの講評

「世代関係なく、誰もが暮らしやすい街」というテーマで発表してくれました。「人口減少が進むから、店が少ないのではないか」という考えから、ドローン体験や介護体験等で使った道具を使えば大きな店も展開できるのではないか、という3日間で自分達が体験したことを生かした意見をもつことができました。



福岡県北九州教育事務所・江崎 義朗主任社会教育主事からの講評

「大人になっても住みたいと思える地域」というテーマで発表してくれました。そのためには、「大人から子どもまでみんなが楽しめることが重要ではないか」という考えから、地域で目立ってきた空き家の再利用を目的としたお化け屋敷や、大和ハウスの防犯ガラスを利用した安全対策が必要等、この3日間で自分達が体験したことを生かした意見をもつことができました。



直鞍地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会

直方市、直方市教育委員会、宮若市、宮若市教育委員会
小竹町、小竹町教育委員会、鞍手町、鞍手町教育委員会、福岡県